

# Stroke-Mobile-Telemedicine NEWS

Ver.2009

## 目次

- 1 SMT 後半症例登録の報告
- 2 その他連絡事項

## 研究期間

ご協力宜しくお願い致します。

前半 2ヵ月:7月~8月

後半 4ヵ月:9月~12月31日

(前半:携帯なし、後半:携帯あり)

・症例登録票「1ヶ月・3ヶ月後報告」

「No.2 来院後報告」を各施設に

SMT事務局よりメールまたはFAXにて

お送りさせて頂いております。

必要事項を記入して、ご返送頂きます

ようお願い致します。

なお、「症例登録票」につきまして、

記入漏れがあればFAXにてお尋ね

することがございますので、宜しくお願い

申し上げます。

発行元:SMT事務局

〒701-0192

岡山県倉敷市松島577

川崎医科大学 脳卒中医学

SMT事務局

事務局担当:井口保之

事務担当:岡本麻里

TEL&FAX:086-464-1128

Mail:stroke3@med.kawasaki-m.ac.jp

ML:smt2008@freeml.com

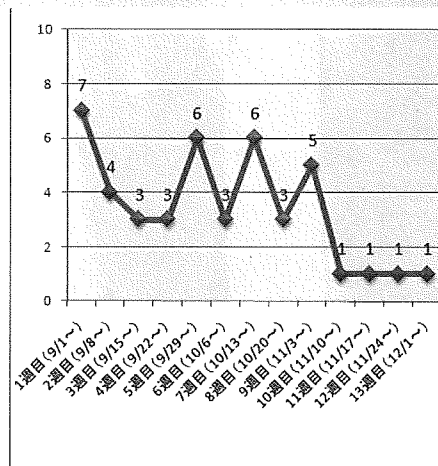
## 1. SMT 後半症例登録の報告(13週目)

症例登録件数:44例(12/2現在)

No.	施設名	症例数	No.	施設名	症例数
1	上五島病院	13例	7	高村病院	1例
2	鏡野病院	8例	8	福井厚生病院	1例
3	落合病院	7例	9	湯原温泉病院	1例
4	成羽病院	5例	10	渡辺病院	1例
5	山鹿中央病院	4例	11	社会保険高浜病院	1例
6	嘉麻赤十字病院	2例			

### 症例登録件数推移

	後期	
	度数	%
1週目(9/1~)	7	15.9%
2週目(9/8~)	4	9.1%
3週目(9/15~)	3	6.8%
4週目(9/22~)	3	6.8%
5週目(9/29~)	6	13.6%
6週目(10/6~)	3	6.8%
7週目(10/13~)	6	13.6%
8週目(10/20~)	3	6.8%
9週目(11/3~)	5	11.4%
10週目(11/10~)	1	2.3%
11週目(11/17~)	1	2.3%
12週目(11/24~)	1	2.3%
13週目(12/1~)	1	2.3%
計	44	

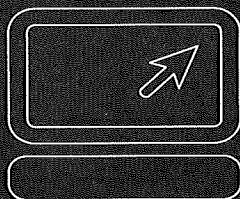


### 施設別来院後の1ヵ月報告状況

施設名	登録症例数	前期	
		1ヶ月後:済(未)	
長崎県上五島病院 (長崎県)	11	9	2
山鹿中央病院 (熊本県)	11	11	
落合病院 (県北)	7		
高村病院 (福井県)	5	0	5
渡辺病院 (県北)	5	3	2
湘南病院 (神奈川県)	5	5	
嘉麻赤十字病院 (福岡県)	4	4	
湯原温泉病院 (県北)	4	4	
社会保険高浜病院 (福井県)	3	3	
鏡野病院 (県北)	3	3	
ホウエツ病院 (徳島県)	3	3	
福井厚生病院 (福井県)	2	0	2
成羽病院 (県北)	1	1	
市立奈良病院 (奈良県)	1	0	1
計	65	53	12

## 2. その他連絡事項

・現在、前半ご登録頂きました症例の1・3ヶ月後報告用紙と後半1ヶ月後の報告用紙を各施設にメールにてお送りさせて頂いております。ご多忙中恐縮ですが、早めにご記入を宜しくお願い申し上げます。



発行元: SMT 事務局

〒701-0192

岡山県倉敷市松島 577

川崎医科大学 脳卒中医学

SMT 事務局

事務局担当: 井口保之

事務担当: 岡本麻里

TEL&FAX: 086-464-1128

stroke3@med.kawasaki-m.ac.jp

ML: smt2008@freeml.com

当院は、岡山県の北部、中国山地の中に位置しています。脳卒中診療に関しては、専門に行える医師がおらず、保存的に治療を行うか、病状によっては専門医療機関へ紹介を行っております。これまで診断や治療に難しい症例もあり、十分な医療を提供できていたとは言えませんでした。このような状況のなか SMT 研究のお話をいただき、脳卒中の初期診療において大変なメリットになるのではと考え、参加させていただくこととなりました。実際に SMT を行い、tPA 治療を行えるような症例はありませんでしたが、診断困難な症例を診て頂くこともでき、その有効性を確信いたしました。あと一カ月でこの研究が終了してしまいますが、できれば今後もなんらかのかたちで継続できるようにしていただけたらと願っております。また脳卒中だけでなく他の疾患でもこのような医療連携ができるようになればと期待しております。

落合病院 井口泰孝

## 目次

1. SMT 後半症例登録の報告
2. その他連絡事項

## 研究期間

ご協力宜しくお願い致します。

前半 2ヵ月: 7月~8月

後半 4ヵ月: 9月~12月 31日

(前半: 携帯なし、後半: 携帯あり)

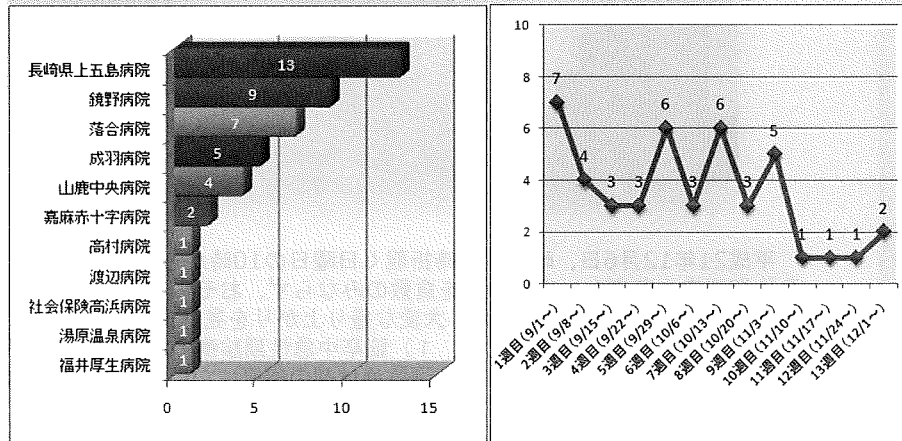
### ・症例登録票「1ヶ月・3ヵ月後報告」

「No.2 来院後報告」を各施設に SMT 事務局よりメールまたは FAX にて お送りさせて頂いております。必要事項を記入して、ご返送頂きますようお願い致します。なお、「症例登録票」につきまして、記入漏れがあれば FAX にてお尋ねすることがございますので、宜しくお願い申し上げます。

## 1. SMT 後半症例登録の報告(13 週目)

症例登録件数: 45 例(12/4 現在)

No.	施設名	症例数	No.	施設名	症例数
1	上五島病院	13 例	7	高村病院	1 例
2	鏡野病院	9 例	8	福井厚生病院	1 例
3	落合病院	7 例	9	湯原温泉病院	1 例
4	成羽病院	5 例	10	渡辺病院	1 例
5	山鹿中央病院	4 例	11	社会保険高浜病院	1 例
6	嘉麻赤十字病院	2 例			



データ集計を行っておりますので、お早めに FAX を送って頂きますよう、お願い申し上げます。

## 発行元: SMT 事務局

〒701-0192

岡山県倉敷市松島 577

川崎医科大学 脳卒中医学

SMT 事務局

事務局担当: 井口保之

事務担当: 岡本麻里

TEL&FAX: 086-464-1128

Mail: stroke3@med.kawasaki-m.ac.jp

ML: smt2008@freeml.com

## 2. その他連絡事項

・現在、前半ご登録頂きました症例の1・3ヶ月後報告用紙と後半1ヶ月後の報告用紙を各施設にメールにてお送りさせて頂いております。ご多忙中恐縮ですが、早めにご記入を宜しくお願い申し上げます。

・先日ご連絡して頂きました消耗品は、商品が全てそろい次第、順次発送をさせていただきます。

### <お願い>

※携帯電話通話料の予算残高に余裕があります。

小さなことでもかまいませんので、今以上に SMT をご活用いただきしたいと思います。

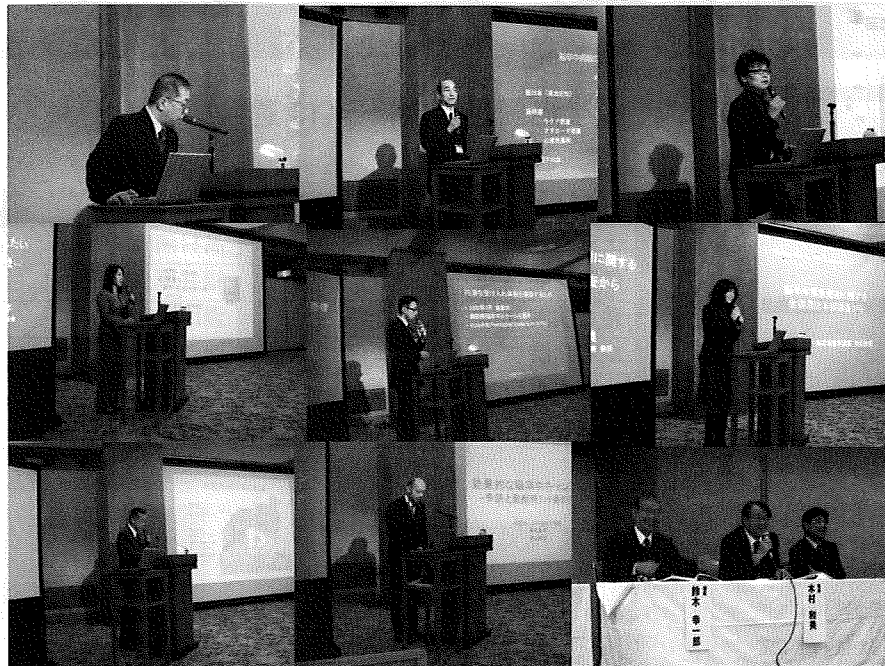
病院間の情報交換や現状報告等に SMT をご使用になっていただいても構いませんので、日々連絡を取り合いながら1件でも多くの症例をご報告いただきますようご協力お願い致します。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

SMT 事務局



# 急性期脳卒中医療シンポジウム



平成21年12月6日、晴れ間が時折覗く日曜日の10時から倉敷国際ホテルで、急性期脳卒中医療シンポジウムを倉敷のみならず、おそらく中国四国地方で初と思われます。当日は80余名の参加者を数え、大変な盛り上がりを見せました。私、井口は木村班での研究成果、1)脳卒中急性期診療の地域格差・病院間格差、さらに2)SMTを用いた脳卒中急性期遠隔診療体制の構築について概説いたしました。鏡野病院と川大での診療風景の実際も発表しました。なお、本シンポジウムの内容は、NHK岡山放送制作番組として、12/11金曜日19時30分から総合テレビ「岡山発」で放送される予定です。岡山、そして全国の急性期脳卒中診療体制が整備され、一人でも多くの市民に最良の医療が提供されることを心より祈念しております。

文責 川大 脳卒中科 井口保之





## 急性期脳卒中医療シンポジウムプログラム

開催日時：平成21年12月6日（日） 10：00～14：00

開催場所：倉敷国際ホテル 桜花の間

テーマ：脳卒中急性期患者の受け入れ体制・連携の現状とあり方

-行政・救急隊・医療施設 それぞれの観点から-

[座長]

鈴木幸一郎（川崎医科大学 救急医学 教授）

岡村 智教（国立循環器病センター 予防検診部 部長）

木村 和美（川崎医科大学 脳卒中医学 教授）



1.市民への啓発、予防について 10：00～10：50

[シンポジスト]

1-① 脳卒中入院患者から見た倉敷市の現状と課題  
篠原 淑子（岡山県倉敷市保健所健康づくり課 課長）

1-② 効果的な脳卒中キャンペーン予防と発症時119番の普及－  
中山 博文（社団法人 日本脳卒中協会 専務理事）

1-③ 知られざる危険伝えたい～NHK報道の挑戦～  
山田 紗規子（NHK岡山放送局）

2.救急隊の取り組みについて 10：50～11：25

[シンポジスト]

2-① 脳卒中救急搬送体制に関する全国消防本部調査から  
宮松 直美（滋賀医科大学臨床看護学 教授）

2-② 倉敷市消防局における救急隊の取り組み  
岡田 洋（倉敷市消防局警防課 課長）



3.急性期脳卒中診療体制について 11：25～12：15

[シンポジスト]

3-① 当院における急性期脳卒中患者受け入れ体制の現状  
井口 保之（川崎医科大学 脳卒中医学 准教授）

3-② 脳卒中急性期患者の受け入れ体制と現況  
山形 専（倉敷中央病院 副院長）

3-③ 急性期脳卒中診療体制について－小回りのきく機動性の高い救急体制－  
篠山 英道（倉敷平成病院 救急部、脳神経外科 部長）

4.総合討論会 13：00～14：00



# <速報> テレメデ研究期間1ヶ月延長決定！！

Vol.23 2009/12/8 発行

発行元: SMT 事務局(川崎医科大学脳卒中医学)

## Stroke-Mobile-Telemedicine NEWS

Ver.2009

### 目次

1. SMT 後半症例登録の報告
2. その他連絡事項

ご多忙のところ SMT 研究にご協力下さいまして誠にありがとうございます。  
さて、平成 21 年度 SMT 研究ですが、通信費に余裕があるため 1 月 28 日まで研究期間を延長することとなりました。(※予定では 12 月末終了でした)

お渡しております携帯電話は 1/29 の第 3 回 SMT 会議の際に回収させていただきますので、ご多忙中お手数ですが、基幹病院の先生方は地域病院へのご対応を宜しく願い申し上げます。  
研究期間延長に伴い、何かご支障がある場合は、事務局:井口までご連絡を宜しく願い申し上げます。

### 1. SMT 後半症例登録の報告(13 週目)

#### 研究期間

ご協力宜しくお願い致します。

前半 2 ヵ月: 7 月~8 月

後半 5 ヵ月: 9 月~1 月 28 日

(前半:携帯なし、後半:携帯あり)

・症例登録票「1ヶ月・3ヵ月後報告」

「No.2 来院後報告」を各施設に

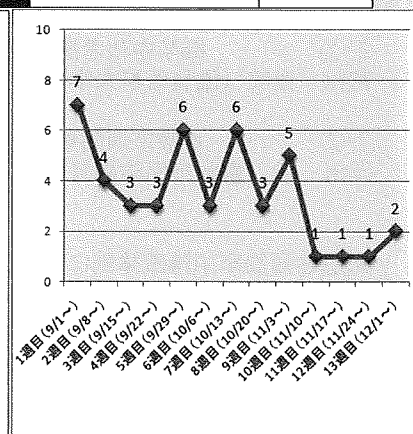
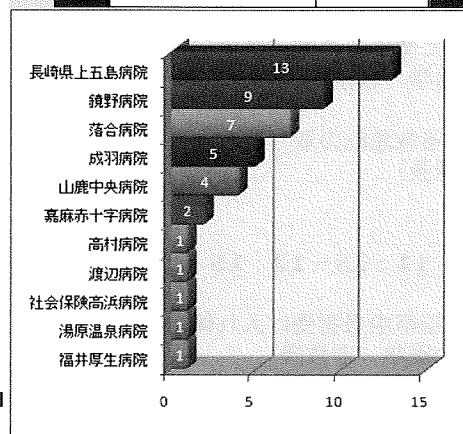
SMT 事務局よりメールまたは FAX にて  
お送りさせて頂いております。

必要事項を記入して、ご返送頂きます  
ようお願い致します。

なお、「症例登録票」につきまして、  
記入漏れがあれば FAX にてお尋ね  
することがございますので、宜しくお願い  
申し上げます。

症例登録件数: 45 例(12/8 現在)

No.	施設名	症例数	No.	施設名	症例数
1	上五島病院	13 例	7	高村病院	1 例
2	鏡野病院	9 例	8	福井厚生病院	1 例
3	落合病院	7 例	9	湯原温泉病院	1 例
4	成羽病院	5 例	10	渡辺病院	1 例
5	山鹿中央病院	4 例	11	社会保険高浜病院	1 例
6	嘉麻赤十字病院	2 例			



発行元: SMT 事務局

〒701-0192

岡山県倉敷市松島 577

川崎医科大学 脳卒中医学

SMT 事務局

事務局担当: 井口保之

事務担当: 岡本麻里

TEL&FAX: 086-464-1128

Mail: stroke3@med.kawasaki-m.ac.jp

ML: smt2008@freeml.com

### 2. その他連絡事項

・現在、前半ご登録頂きました症例の1・3ヶ月後報告用紙と後半1ヶ月後の報告用紙を各施設にメールにてお送りさせて頂いております。ご多忙中恐縮ですが、早めにご記入を宜しくお願い申し上げます。

・先日ご連絡頂きました消耗品は、商品が全てそろい次第、順次発送をさせていただきます。

<お願い>

※携帯電話通話料の予算残高に余裕があります。

小さなことでもかまいませんので、今以上に SMT をご活用いただきたいと思っております。

病院間の情報交換や現状報告等に SMT をご使用になっていただいて構いませんので、日々連絡を取り合いながら1件でも多くの症例をご報告いただきますようご協力お願い致します。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

SMT 事務局

# Stroke-Mobile-Telemedicine NEWS

Ver.2009

## テレメデスンと 地域連携医療の未来

研究期間

ご協力宜しくお願い致します。

前半 2カ月: 7月~8月

後半 5カ月: 9月~1月28日

(前半: 携帯なし、後半: 携帯あり)

・症例登録票「1・3ヵ月後報告」

「No.2 来院後報告」を各施設に  
SMT事務局よりメールまたはFAX  
にてお送りさせて頂いております。

必要事項を記入して、ご返送頂  
きますようお願い致します。

なお、「症例登録票」につきまし  
て、記入漏れがあればFAXにて  
お尋ねすることがございますので、  
宜しくお願い申し上げます。



この状況を打開するため、福井大学地域医療連携部と医療情報部は「長崎在宅Drネット」を参考に、メーリングリストを用いた在宅ネットワークの構築を計画しています。つまりメーリングリストを共通診療録とする方法です。この「福井版在宅Drネット」ですが、実はSMT研究の影響を強く受けています。通常、メーリングリストはパソコンが主流です。しかし在宅スタッフの中核であるケアマネさんやヘルパーさんは、パソコンを触る機会がほとんどありません。だれでも持っているITツールと言えば、やはり携帯電話。これならば、在宅スタッフのだれもがネットワークに参加できます。キーボードが苦手なのに、なぜか携帯メールは自在に打てる。そんな方って、多いですよ。もしテレビ電話が使えるならば、患者さんがご自宅で脳卒中を再発されても、在宅スタッフは迅速に専門医の指導を仰ぐことができます。SMT研究の結果を、現場に活かすことができるのです。

先日、初めてテレメデスンを経験しました。直接手に触れることのない患者さんを診察する妙な緊張感と、未来に向かって一歩踏み出した達成感が重なり、大興奮の1時間でした。私は現在、福井大学医学部附属病院の地域医療連携部ディレクターを兼任しています。日々の悩みは転院先や退院先との交渉で、特に大学病院から直接在宅退院を目指す重症患者さんの交渉では、悪戦苦闘を繰り返しています。そんな中で、テレメデスンには一筋の光明を感じます。

福井大学病院の回りは、だいたい田んぼか山です。集落はその中に点在しており、在宅診療にたずさわるスタッフは、医師も看護師もリハビリスタッフも、ケアマネさんもヘルパーさんも管理栄養士さんも薬剤師さんも、みんな車に乗って遠距離を移動しています。彼らはチーム医療を謳っていますが、互いに所属事業所が異なるので顔を合わせることは滅多にありません(特に医師と医師以外)。Face to faceのない連携医療は、トラブルとクレームの応酬です。ADLを損なわれた脳卒中患者さんは、チグハグな地域医療の中へ帰り、そこで長い療養生活を過ごされます。

先生方とともに取り組んでいるSMT研究はハブ方式、つまり専門医のいない医療機関と専門医のいる医療機関をつなぐ方式です。この方式は、そのまま在宅診療にも当てはまります。在宅診療の最大の壁は病院と在宅スタッフの相互不信にあります。テレメデスンが専門医で不在在宅スタッフと脳卒中専門医をつなぐ、その繰り返しでお互いの力量を知ることができるのならば、病院と在宅スタッフの壁も氷解するのではないのでしょうか。私はテレメデスンに地域連携医療の未来を感じずにはいられません。SMT研究の成功と「在病一和」のために、今後も努力を続けたいと思っています。これからも、よろしく願い申し上げます。

福井大学医学部 第二内科  
山村 修



発行元: SMT事務局

〒701-0192

岡山県倉敷市松島577

川崎医科大学 脳卒中医学

SMT事務局

事務局担当: 井口保之

事務担当: 岡本麻里

TEL&FAX: 086-464-1128

stroke3@med.kawasaki-m.ac.jp

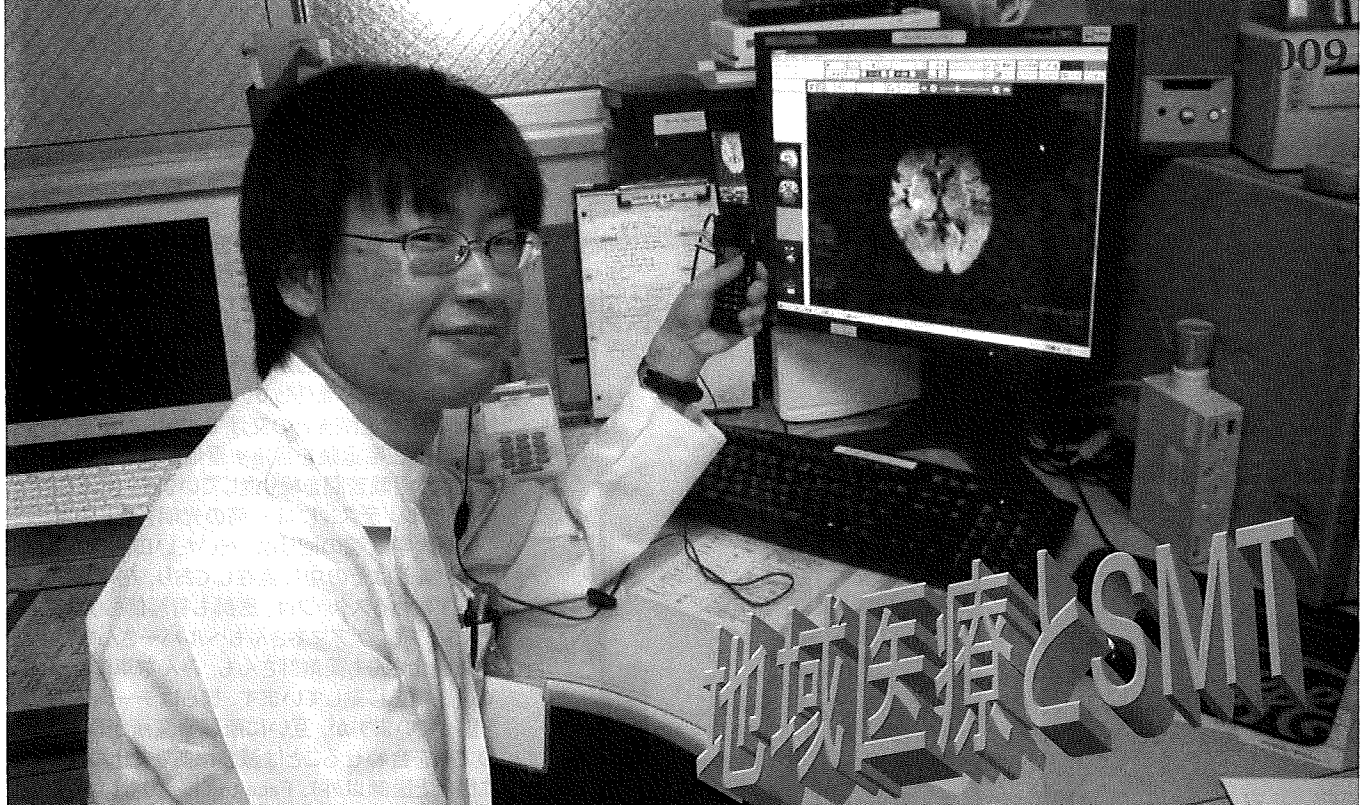
ML: smt2008@freeml.com

Vol.24 2009/12/10 発行

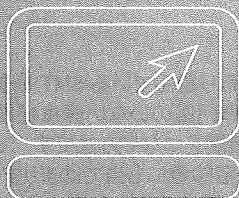
発行元: SMT事務局(川崎医科大学 脳卒中医学)



# Stroke-Mobile-Telemedicine



## 地域医療とSMT



発行元: SMT 事務局

〒701-0192

岡山県倉敷市松島 577

川崎医科大学 脳卒中医学

SMT 事務局

事務局担当: 井口保之

事務担当: 岡本麻里

TEL&FAX: 086-464-1128

stroke3@med.kawasaki-m.ac.jp

ML: smt2008@freeml.com

私は自治医大を卒業し、現在へき地勤務をしております。地域医療の現場では予想以上に脳卒中の患者さんが多いと実感しています。心筋梗塞や消化管出血ならばすぐに専門医への受診を勧め、中核病院へ搬送することがほとんどです。しかし脳卒中は専門医が不足しているため、自分で脳卒中の患者さんを診断、治療を行わなければならないことが多いのが現状です。そこで現場の医師たちは自分の診療でよいのか思い悩み、苦しんでおられると思います。私も初期研修中は脳卒中の患者さんに対してどのような治療を行ってよいかわからず、本当に悩むことが多かったです。

僕は SMT によってこの苦悩を解消できると期待しています。専門医と症例を検討することによって、医師はどのような診察・検査を重視し、選択すべき治療法を学ぶことができます。これはただ紹介するだけでは得られない、大きなメリットだと思います。

この大きな希望ある SMT 研究に参加できる喜びを感じ、更になんばっていきたいと思います。

鏡野町国民健康保険病院  
内科 藤井修一

# テレメデ研究期間 1ヶ月延長！！

Vol.25 2009/12/14 発行

発行元:SMT事務局(川崎医科大学脳卒中医学)

## Stroke-Mobile-Telemedicine NEWS

Ver.2009

### 目次

1. SMT 後半症例登録の報告
2. その他連絡事項

ご多忙のところ SMT 研究にご協力下さいまして誠にありがとうございます。  
 さて、平成 21 年度 SMT 研究ですが、通信費に余裕があるため 1 月 28 日まで研究期間を延長することとなりました。(※予定では 12 月末終了でした)  
 お渡しております携帯電話は 1/29 の第 3 回 SMT 会議の際に回収をさせていただきますので、ご多忙中お手数ですが、基幹病院の先生方は地域病院へのご対応を宜しくお願い申し上げます。  
 研究期間延長に伴い、何かご支障がある場合は、事務局:井口までご連絡を宜しく申し上げます。

### 1. SMT 後半症例登録の報告(14 週目)

#### 研究期間

ご協力宜しくお願い致します。

前半 2 カ月:7 月~8 月

後半 5 カ月:9 月~1 月 28 日

(前半:携帯なし、後半:携帯あり)

・症例登録票「1ヶ月・3ヵ月後報告」

「No.2 来院後報告」を各施設に

SMT 事務局よりメールまたは FAX にてお送りさせて頂いております。

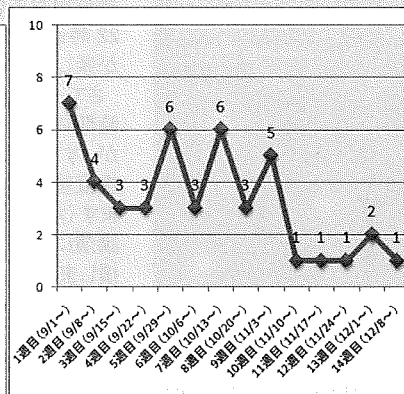
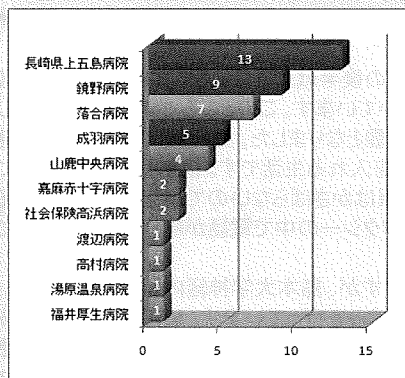
必要事項を記入して、ご返送頂きますようお願い致します。

なお、「症例登録票」につきまして、

記入漏れがあれば FAX にてお尋ねすることがございますので、宜しくお願い申し上げます。

症例登録件数:46 例(12/14 現在)

No.	施設名	症例数	No.	施設名	症例数
1	上五島病院	13 例	7	社会保険高浜病院	2 例
2	鏡野病院	9 例	8	高村病院	1 例
3	落合病院	7 例	9	福井厚生病院	1 例
4	成羽病院	5 例	10	湯原温泉病院	1 例
5	山鹿中央病院	4 例	11	渡辺病院	1 例
6	嘉麻赤十字病院	2 例			



発行元:SMT事務局

〒701-0192

岡山県倉敷市松島 577

川崎医科大学 脳卒中医学

SMT 事務局

事務局担当:井口保之

事務担当:岡本麻里

TEL&FAX:086-464-1128

Mail:stroke3@med.kawasaki-m.ac.jp

ML:smt2008@freeml.com

### 2. その他連絡事項

・現在、前半ご登録頂きました症例の1・3ヶ月後報告用紙と後半1ヶ月後の報告用紙を各施設にメールにてお送りさせて頂いております。ご多忙中恐縮ですが、お早めにご記入を宜しくお願い申し上げます。

＜お願い＞

※携帯電話通話料の予算残高に余裕があります。

小さなことでもかまいませんので、今以上に SMT をご活用いただきたいと思っております。

病院間の情報交換や現状報告等に SMT をご使用になっていただいで構いませんので、日々連絡を取り合いながら1件でも多くの症例をご報告いただきますようご協力お願い致します。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

SMT 事務局



# Stroke-Mobile-Telemedicine NEWS

Ver.2009

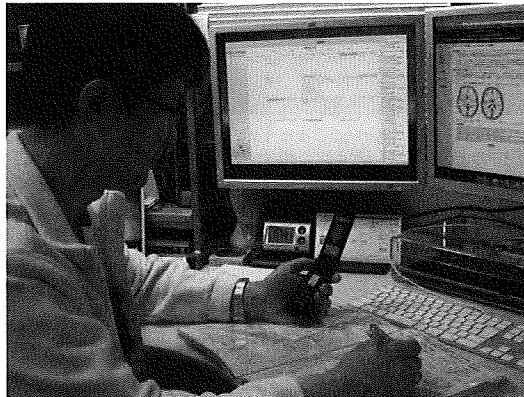


写真:テレメデの実際

ハンズフリーでも相手の声は良く聞こえます。画像はモニターを直接 TV 電話で映すと、比較的鮮明な所見が得られるようです。フィルムをシャーカステンにかけたものはダメですね。

## テレメデ4例目にしてt-PA 実施!

12月1日火曜日の外来診療が終わって医局に戻ってきたところ、17:48にSMT携帯が鳴りました。山鹿中央病院から4例目の患者相談で、30分前に右の口角下垂と右麻痺を発症した男性がこれから搬送されるとの第一報でした。まだ時間もあるのでt-PA適応であれば熊本市内への転送を考慮されたようですが、1分でも早く治療した方がよいとアドバイスし現地での治療をお勧めしました。1時間後に続報が届き、NIHSS 15、早期CT所見のないことをテレビ電話で確認し、血液所見ほか禁忌項目もないことから、家族への説明の後t-PA投与が行われました。その後、22時過ぎに経過報告があり、右麻痺は改善傾向との情報でした。3ヵ月後の転帰が楽しみです。

さて9月からの後半戦に入り、熊本大学病院でも交替でSMT携帯当番を決め24時間体制をしています。このところSMT携帯を充電し枕元に置いて就寝するのが、すっかり日課となりました。飛行機に乗る際も搭乗直前にSMT携帯を切り、降機直後に電源を入れる生活です。症例登録票は財布に入れて常時、持ち歩いています(ポケット版はかさばらないので重宝しています)。後半戦2例目は、徳島での講演に向かうタクシーの中で電話が鳴り、講師控え室で診察と画像の読影を遠隔支援しました。

話は変わりますが、熊本大学神経内科では脳卒中急患対応のためiPhoneを用いた画像転送の試みを行っています。後期研修医をはじめ経験の浅い先生が初期対応をされる際、脳卒中専門医が遠隔地からサポートできるような工夫です。という訳で、SMT携帯、iPhone、個人携帯の3つに加え、病院内では院内PHSも携帯しており、電磁波まみれの毎日(?)が続いています。心なしか9月以降、肩こりが一段とひどくなったような気もしますが、冒頭のように、うまくt-PAが施行できた患者さんを経験するとファイトが沸いてきます。

昨年、カンボジアの空港でHankey教授(オーストラリア)、Siwaporn教授(タイ)と3人でビールを飲みながら雑談したことがあります。「地球は丸いので、globalに遠隔診療ネットワークができれば真夜中の患者であっても、daytimeの脳卒中専門医(日本→ポストンなど)に相談すれば良いね!」という話題が出ました。こうすればオンコールで呼び出されることもなく、プライベートタイムの確保も可能となります。脳卒中中医のQOLを担保し、深刻な医師不足を打破するために有効な方策が、この遠隔医療であろうと思います。このためには法整備(脳卒中対策基本法)は必須ですし、行政を巻き込んだ大きな変革が望まれます。川崎医大の先進的な取り組み(安い!うまい!速い!)に微力ながらできる限りお手伝いしていこうと思います。

熊本大学大学院神経内科学 平野照之

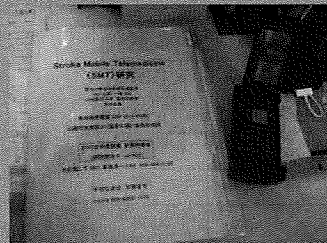


写真:熊大SMTセット

SMT専用携帯とともに症例登録書類をファイルにまとめ、当番医が持ち回りに対応しています。ポケット版症例登録票は、財布の中にしぼせています。



写真:カンボジアで

シェムリアップ空港の待ち合いにて。Hankey教授(左)、平野(中央)、Siwaporn教授(右)と、アジア・オセアニアの脳卒中について雑談した際のスナップ。



# Stroke-Mobile-Telemedicine NEWS

Ver.2009

## 目次

1. SMT 後半症例登録の報告
2. その他連絡事項

## 研究期間

ご協力宜しくお願い致します。  
 前半 2ヵ月: 7月～8月  
 後半 5ヵ月: 9月～1月28日  
 (前半: 携帯なし、後半: 携帯あり)

## 症例登録票「1・3ヵ月後報告」

「No.2 来院後報告」を各施設に  
 SMT 事務局よりメールまたは FAX  
 にてお送りさせて頂いております。

必要事項を記入して、ご返送頂  
 きますようお願い致します。

なお、「症例登録票」につきまし  
 て、記入漏れがあれば FAX にて  
 お尋ねすることがございますので  
 宜しくお願い申し上げます。

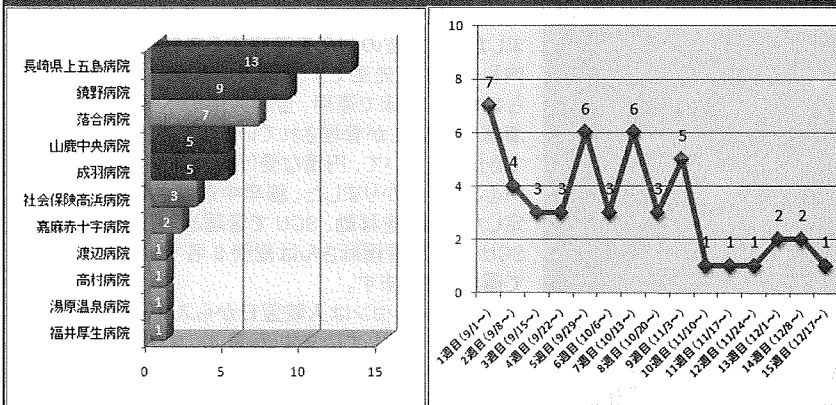


発行元: SMT 事務局  
 〒701-0192  
 岡山県倉敷市松島 577  
 川崎医科大学 脳卒中医学  
 SMT 事務局  
 事務局担当: 井口保之  
 事務担当: 岡本麻里  
 TEL&FAX: 086-464-1128  
 stroke3@med.kawasaki-m.ac.jp  
 ML: smt2008@freeml.com

## 1. SMT 後半症例登録の報告(15 週目)

症例登録件数: 48 例(12/17 現在)

No.	施設名	症例数	No.	施設名	症例数
1	上五島病院	13 例	7	嘉麻赤十字病院	2 例
2	鏡野病院	9 例	8	高村病院	1 例
3	落合病院	7 例	9	福井厚生病院	1 例
4	山鹿中央病院	5 例	10	湯原温泉病院	1 例
5	成羽病院	5 例	11	渡辺病院	1 例
6	社会保険高浜病院	3 例			



## 2. その他連絡事項

・現在、前半ご登録頂きました症例の1・3ヶ月後報告用紙と後半1ヶ月後の報告用紙を各施設にメールにてお送りさせて頂いております。ご多忙中恐縮ですが、お早めにご記入を宜しくお願い申し上げます。

<お願い>

※携帯電話通話料の予算残高に余裕があります。

小さなことでもかまいませんので、今以上に SMT をご活用いただきたいと思ひます。病院間の情報交換や現状報告等に SMT をご使用になっていただいて構いませんので、日々連絡を取り合いながら1件でも多くの症例をご報告いただきますようご協力お願い致します。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

SMT 事務局



# Stroke-Mobile-Telemedicine NEWS

Ver.2009

## 新日鐵八幡記念病院 施設見学報告!

晴れたり、曇ったり、今年一番の寒波が日本中を襲っている 12/18 の夕刻、新日鐵八幡病院・脳卒中センターを見学させていただきました。川崎医科大学からは、山陽本線、新幹線、小倉で鹿児島本線、八幡で降ります。

さて、八幡病院は昔、「てっこう病院」と呼ばれたらしいです。開院は 1900 年頃!!! すごい歴史です。脳卒中・神経センターは脳外科、脳内科、計 4 名で運用されています。まずは脳外科部長 鈴木聡部長にご挨拶(写真 1)。外来途中をお邪魔してしまいました。チーム医療を展開するには、診療科の垣根を取り払って、スクラムを組むことが重要と伺いました。なんでも、近々ナイフが導入されるようで、今後の発展が期待されます。

いよいよ脳卒中救急患者の流れです。脳卒中の患者さんは、救急外来に来て、採血してすぐ CT 室に向かいます。情報を収集して、発症 3 時間以内の t-PA 療法対応例と判断したら、救急室には戻らずすぐに集中治療室へ入室します。救急室から CT、ICU まで 10 メートル範囲内に収まっています。この導線には驚きました。救急室の対応を確認する木村教授と脳血管内科 藤本茂先生です(写真 2)。救急外来うけつけから ICU は 18 床で運用、全科共用のベッドで救急部海塚安郎先生が管理されています。スタッフの動きがてきぱきしていて、円滑な受け入れ体制が整備されていることがわかりました。脳卒中患者さんの容体が安定したら病棟を移動、SCU で管理となります(写真 3)。SCU 専属の看護師さんは総勢 8 名で、3 床を独立して運用しています。

リハビリテーションは入院翌日からスタート。リハビリ室も広くて充実しています(写真 4)。スタッフの皆さんのモチベーションは高く、土曜日・日曜日・年末年始は無休! 患者さん主体の医療が展開されていました。今回の施設見学では、チーム医療によって円滑な脳卒中急性期診療が展開されている現場を肌で感じることができました。川大脳卒中科と共同研究して頂いている携帯電話を使用した SMT も脳卒中センターオンコール医師が常に携帯し縦横無尽に活躍されているとのこと、市民・救急隊・そして地域医療機関との連携もスムーズと伺いました。

最後になりましたが、施設見学を快諾くださいました病院長・佐渡島省三先生はじめスタッフの皆様、本当にありがとうございました。今後とも研究へのご協力よろしくお願い申し上げます。

文責 井口保之

医療法人社団 新日鐵八幡記念病院

〒805-8508

福岡県北九州市八幡東区春の町1丁目1-1



写真 1: 脳外科部長 鈴木聡先生

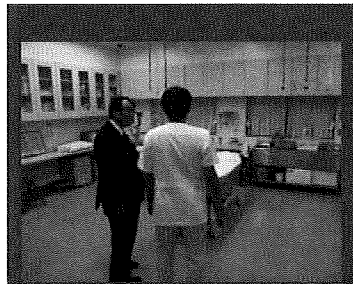


写真 2: 救急室にて



写真 3: SCU



写真 4: リハビリ室にて

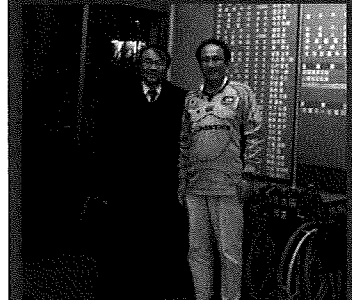


写真 5: 脳血管内科 藤本茂先生



# Stroke-Mobile-Telemedicine NEWS

Ver.2009

## 目次

1. SMT 後半症例登録の報告
2. その他連絡事項

### 研究期間

ご協力宜しくお願い致します。

前半 2 ヶ月: 7 月～8 月

後半 5 ヶ月: 9 月～1 月 28 日

(前半: 携帯なし、後半: 携帯あり)

症例登録票「1・3 ヶ月後報告」

「No.2 来院後報告」を各施設に SMT 事務局よりメールまたは FAX にてお送りさせて頂いております。

必要事項を記入して、ご返送頂きますようお願い致します。

なお、「症例登録票」につきまして、記入漏れがあれば FAX にてお尋ねすることがございますので、宜しくお願い申し上げます。



発行元: SMT 事務局

〒701-0192

岡山県倉敷市松島 577

川崎医科大学 脳卒中医学

SMT 事務局

事務局担当: 井口保之

事務担当: 岡本麻里

TEL&FAX: 086-464-1128

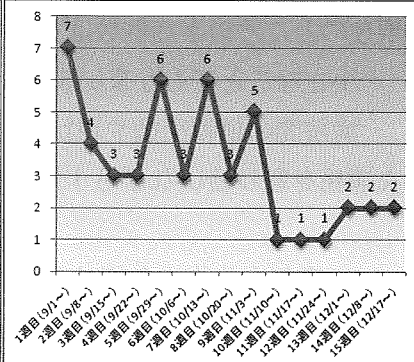
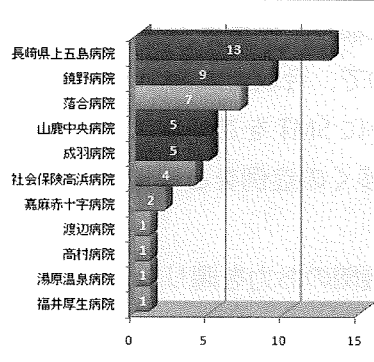
stroke3@med.kawasaki-m.ac.jp

ML: smt2008@freeml.com

## 1. SMT 後半症例登録の報告(15 週目)

症例登録件数: 49 例(12/21 現在)

No.	施設名	症例数	No.	施設名	症例数
1	上五島病院	13 例	7	嘉麻赤十字病院	2 例
2	鏡野病院	9 例	8	高村病院	1 例
3	落合病院	7 例	9	福井厚生病院	1 例
4	山鹿中央病院	5 例	10	湯原温泉病院	1 例
5	成羽病院	5 例	11	渡辺病院	1 例
6	社会保険高浜病院	4 例			



## 2. その他連絡事項

・現在、前半ご登録頂きました症例の1・3 ヶ月後報告用紙と後半 1 ヶ月後の報告用紙を各施設にメールにてお送りさせて頂いております。ご多忙中恐縮ですが、お早めにご記入を宜しくお願い申し上げます。

<お願い>

※携帯電話通話料の予算残高に余裕があります。

小さなことでもかまいませんので、今以上に SMT をご活用いただきしたいと思います。病院間の情報交換や現状報告等に SMT をご使用になっていただいで構いませんので、日々連絡を取り合いながら1件でも多くの症例をご報告いただきますようご協力お願い致します。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

SMT 事務局



# Stroke-Mobile-Telemedicine NEWS

Ver.2009

## MERRY CHRISTMAS!

本年は stroke-mobile-telemedicine 研究にご協力を頂き誠にありがとうございます。

後期研究も延長戦となり、あと1ヶ月を残すのみとなりました。

現在のところ後半症例数は50例になり、目標まであと二歩(?)のところまで参りました。

小さなことでもかまいませんので、今以上にSMTをご活用頂きたいと思います。

病院間の情報交換や現状報告等にSMTをご使用になって頂いて構いませんので、日々連絡を取り合いながら1件でも多くの症例をご報告頂きますようご協力お願い致します。

来年も先生方を初め各協力機関のお力を賜りながら、頑張って参りますので

残り1ヶ月、ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

メリークリスマス!

SMT 事務局

### 研究期間

前半 2ヵ月: 7月~8月

後半 5ヵ月: 9月~1月28日

(前半: 携帯なし、後半: 携帯あり)

発行元: SMT 事務局

〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577

川崎医科大学 脳卒中医学

事務局担当: 井口保之

事務担当: 岡本麻里

TEL&FAX: 086-464-1128

E-mail: stroke3@med.kawasaki-m.ac.jp

ML: smt2008@freeml.com



Vol.28 2009/12/25 発行

発行元: SMT 事務局(川崎医科大学 脳卒中医学)

# Stroke-Mobile-Telemedicine NEWS

Ver.2009

本年は大変お世話になりました。来年も何卒宜しくお願い申し上げます。

## 目次

- 1 SMT 症例登録の報告
- 2 その他連絡事項

## 研究期間

ご協力宜しくお願い致します。

前半 2 ヶ月: 7 月～8 月

後半 5 ヶ月: 9 月～1 月 28 日

(前半: 携帯なし、後半: 携帯あり)

・症例登録票「1 ヶ月・3 ヶ月後報告」について

「No.2 来院後報告」を各施設に

SMT 事務局よりメールまたは FAX にて

お送りさせて頂いております。

必要事項を記入して、ご返送頂きます

ようお願い致します。

なお、「症例登録票」につきまして、

記入漏れがあれば FAX にてお尋ね

することがございますので、宜しくお願い

発行元: SMT 事務局

〒701-0192

岡山県倉敷市松島 577

川崎医科大学 脳卒中医学

SMT 事務局

事務局担当: 井口保之

事務担当: 岡本麻里

TEL&FAX: 086-464-1128

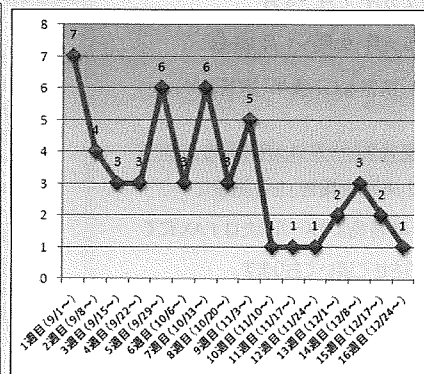
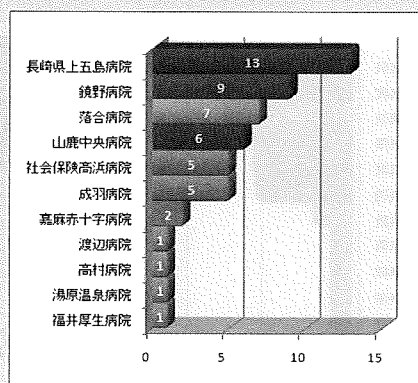
Mail: stroke3@med.kawasaki-m.ac.jp

ML: smt2008@freeml.com

## 1. SMT 後半症例登録の報告(16 週目)

症例登録件数: 51 例(12/28 現在)

No.	施設名	症例数	No.	施設名	症例数
1	上五島病院	13 例	7	嘉麻赤十字病院	2 例
2	鏡野病院	9 例	8	高村病院	1 例
3	落合病院	7 例	9	福井厚生病院	1 例
4	山鹿中央病院	6 例	10	湯原温泉病院	1 例
5	成羽病院	5 例	11	渡辺病院	1 例
6	社会保険高浜病院	5 例			



## 2. その他連絡事項

・現在、前半ご登録頂きました症例の1・3ヶ月後報告用紙と後半1ヶ月後の報告用紙を各施設にメールにてお送りさせて頂いております。ご多忙中恐縮ですが、お早めにご記入を宜しくお願い申し上げます。

<お願い>

※携帯電話通話料の予算残高に余裕があります。

小さなことでもかまいませんので、今以上に SMT をご活用いただきたいと思います。

病院間の情報交換や現状報告等に SMT をご使用になっていただいて構いませんので、

日々連絡を取り合いながら1件でも多くの症例をご報告いただきますようご協力

お願い致します。

来年もご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

SMT 事務局

明けましておめでとうございます。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

## 目次

- 1 SMT 症例登録の報告
- 2 その他連絡事項

## 研究期間

ご協力宜しくお願致します。

前半 2 ヶ月: 7 月~8 月

後半 5 ヶ月: 9 月~1 月 28 日

(前半: 携帯なし、後半: 携帯あり)

## ・症例登録票「1ヶ月・3ヶ月後報告」について

「No.2 来院後報告」を各施設に

SMT 事務局よりメールまたは FAX にて  
お送りさせて頂いております。

必要事項を記入して、ご返送頂きます  
ようお願い致します。

なお、「症例登録票」につきまして、

記入漏れがあれば FAX にてお尋ね

することがございますので、宜しくお願い

発行元: SMT 事務局

〒701-0192

岡山県倉敷市松島 577

川崎医科大学 脳卒中医学

SMT 事務局

事務局担当: 井口保之

事務担当: 岡本麻里

TEL&FAX: 086-464-1128

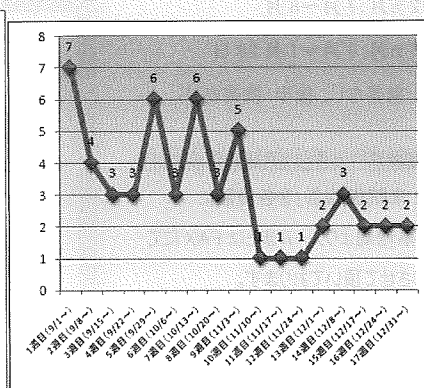
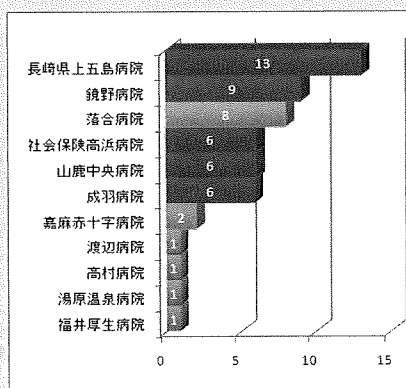
Mail: stroke3@med.kawasaki-m.ac.jp

ML: smt2008@freeml.com

## 1. SMT 後半症例登録の報告(17 週目)

症例登録件数: 54 例(1/6 現在)

No.	施設名	症例数	No.	施設名	症例数
1	上五島病院	13 例	7	嘉麻赤十字病院	2 例
2	鏡野病院	9 例	8	高村病院	1 例
3	落合病院	8 例	9	福井厚生病院	1 例
4	山鹿中央病院	6 例	10	湯原温泉病院	1 例
5	成羽病院	6 例	11	渡辺病院	1 例
6	社会保険高浜病院	6 例			



## 2. その他連絡事項

・平成 21 年度第 3 回 stroke-mobile-telemedicine 会議を 1/29(金)に開催を予定致しておりますが、開催場所が変更になりましたのでご連絡させていただきます。

川崎医科大学 本館6階 カンファレンス室① から

川崎医科大学 本館7階 カンファレンス室 12 に変更致しましたので宜しくお願い申し上げます。

・現在、前半後半にご登録頂きました症例の1・3ヶ月後報告用紙を各施設にメールにてお送りさせて頂いております。ご多忙中恐縮ですが、お早めにご記入を宜しくお願い申し上げます。

※携帯電話通話料の予算残高に余裕があります。

小さなことでもかまいませんので、今以上に SMT をご活用いただきたいと思っております。

病院間の情報交換や現状報告等に SMT をご使用になっていただいて構いませんので、日々連絡を取り合いながら1件でも多くの症例をご報告いただきますようご協力をお願い致します。

本年もご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

SMT 事務局



# Stroke-Mobile-Telemedicine NEWS

Ver.2009

## 1. SMT 後半症例登録の報告(18 週目)

症例登録件数:56例(1/12 現在)

### 目次

- 1 SMT 症例登録の報告
- 2 その他連絡事項

### 研究期間

ご協力宜しくお願い致します。

前半 2 カ月:7 月~8 月

後半 5 カ月:9 月~1 月 28 日

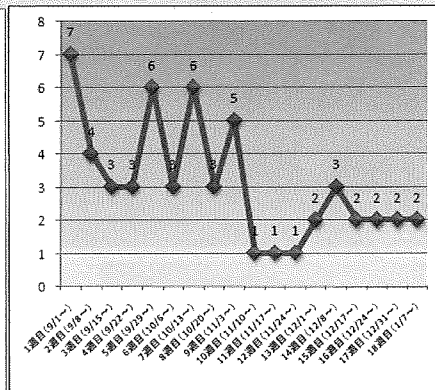
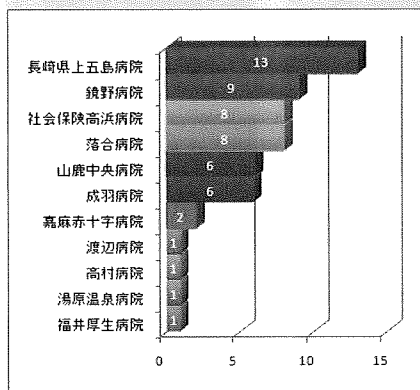
(前半:携帯なし、後半:携帯あり)

・症例登録票「1ヶ月・3ヶ月後報告」について  
「No.2 来院後報告」を各施設に  
SMT事務局よりメールまたは FAX にて  
お送りさせて頂いております。

必要事項を記入して、ご返送頂きます  
ようお願い致します。

なお、「症例登録票」につきまして、  
記入漏れがあれば FAX にてお尋ね  
することがございますので、宜しくお願  
い申し上げます。

No.	施設名	症例数	No.	施設名	症例数
1	上五島病院	13 例	7	嘉麻赤十字病院	2 例
2	鏡野病院	9 例	8	高村病院	1 例
3	落合病院	8 例	9	福井厚生病院	1 例
4	社会保険高浜病院	8 例	10	湯原温泉病院	1 例
5	山鹿中央病院	6 例	11	渡辺病院	1 例
6	成羽病院	6 例			



## 2. その他連絡事項

・現在、前半後半にご登録頂きました症例の1・3ヶ月後報告用紙を各施設にメールにてお送りさせて頂いております。ご多忙中恐縮ですが、お早めにご記入を宜しくお願い申し上げます。

施設名	症例数	前 期	
		1ヶ月後 報告未	3ヶ月後 報告未
長崎県上五島病院	11	2	2
山鹿中央病院	11		
落合病院	7		
高村病院	5		
渡辺病院	5	2	5
湘南病院	5		3
嘉麻赤十字病院	4		1
湯原温泉病院	4		
社会保険高浜病院	4	1	1
鏡野病院	3		
ホウエツ病院	3		
福井厚生病院	2	2	2
成羽病院	1		
市立奈良病院	1		
計	66	7	14

転送等でご不明の場合は、不明と記載して頂き、事務局まで症例登録票をFAXして下さいようお願い致します。

発行元:SMT事務局

〒701-0192

岡山県倉敷市松島 577

川崎医科大学 脳卒中医学

SMT事務局

事務局担当:井口保之

事務担当:岡本麻里

TEL&FAX:086-464-1128

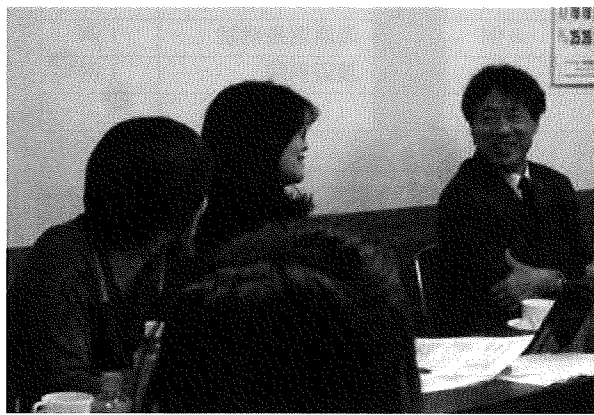
Mail: stroke3@med.kawasaki-m.ac.jp

ML: smt2008@freeml.com

研究期間も残り3週間弱となりましたが、1件でも多くの症例をご報告いただきますよう  
ご協力お願い申し上げます。

SMT事務局

# Stroke-Mobile-Telemedicine NEWS



平成 21 年度第 2 回班会議 平成 22 年 1 月 13 日(水) 14:00~17:00 新大阪丸ビル新館 311 号室

# Stroke-Mobile-Telemedicine NEWS

Ver.2009

## 目次

1. テレメデニュース
2. SMT 症例登録の報告
3. その他連絡事項

## 研究期間

ご協力宜しくお願致します。

前半 2ヵ月:7月~8月

後半 5ヵ月:9月~1月28日

(前半:携帯なし、後半:携帯あり)

・症例登録票「1ヶ月・3ヵ月後報告」について

「No.2 来院後報告」を各施設に  
SMT事務局よりメールまたはFAXにて  
お送りさせて頂いております。

必要事項を記入して、ご返送頂きます  
ようお願い致します。

なお、「症例登録票」につきまして、  
記入漏れがあればFAXにてお尋ね  
することがございますので、宜しくお願  
い申し上げます。

## 発行元:SMT事務局

〒701-0192

岡山県倉敷市松島 577

川崎医科大学 脳卒中医学

SMT事務局

事務局担当:井口保之

事務担当:岡本麻里

TEL&FAX:086-464-1128

Mail:stroke3@med.kawasaki-m.ac.jp

ML:smt2008@freeml.com

## 1. テレメデニュース

1/13に木村班、全体の班会議を新大阪で開催いたしました。

小雪の舞う中、10名の先生にご参加いただきました。

本年度で啓発キャンペーン・評価グループ、急性期病院調査グループ(SMT研究)そして救急搬送体制調査グループでの、3年間の班研究は終了致しますが、今後、さらなる展開を期待したいと思っております。

<班会議にご参加頂いた先生方>

有賀 徹(昭和大学)、

岡村智教、東山 綾、住田陽子(国立循環器病センター)

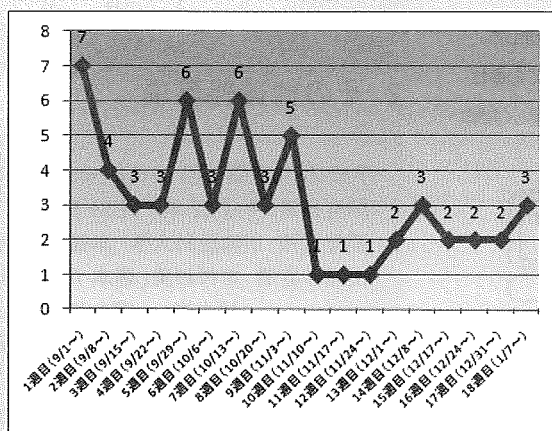
宮松直美、森本明子(滋賀医科大学)

木村和美、鈴木幸一郎、井口保之、芝崎謙作(川崎医科大学)

## 2. SMT 後半症例登録の報告(19週目)

症例登録件数:57例(1/14現在)

No.	施設名	症例数	No.	施設名	症例数
1	上五島病院	13例	7	嘉麻赤十字病院	2例
2	鏡野病院	9例	8	高村病院	1例
3	落合病院	8例	9	福井厚生病院	1例
4	社会保険高浜病院	8例	10	湯原温泉病院	1例
5	山鹿中央病院	7例	11	渡辺病院	1例
6	成羽病院	6例			



## 3. その他連絡事項

・現在、前半後半にご登録頂きました症例の1・3ヶ月後報告用紙を各施設にメールにてお送りさせて頂いております。ご多忙中恐縮ですが、お早めにご記入を宜しくお願申し上げます。

転送等で追跡が困難な場合は、不明とご記載して頂き、事務局まで症例登録票のFAXを  
宜しくお願申し上げます

研究期間も残り2週間となりましたが、1件でも多くの症例をご報告いただけますようご協力お願  
い申し上げます。

SMT事務局



テレメデ登録期間もあと1週間を残すのみとなりました!! ※1,3カ月後の追跡調査は4月迄

## 目次

- 1 SMT 症例登録の報告
- 2 その他連絡事項

## 研究期間

ご協力宜しくお願い致します。

前半 2 ヵ月: 7 月~8 月

後半 5 ヵ月: 9 月~1 月 28 日

(前半: 携帯なし、後半: 携帯あり)

### ・症例登録票「1ヶ月・3ヶ月後報告」について

「No.2 来院後報告」を各施設に

SMT事務局よりメールまたはFAXにて  
お送りさせて頂いております。

必要事項を記入して、ご返送頂きます  
ようお願い致します。

なお、「症例登録票」につきまして、  
記入漏れがあればFAXにてお尋ね  
することがございますので、宜しくお願い  
申し上げます。



発行元: SMT事務局

〒701-0192

岡山県倉敷市松島 577

川崎医科大学 脳卒中医学

SMT事務局

事務局担当: 井口保之

事務担当: 岡本麻里

TEL&FAX: 086-464-1128

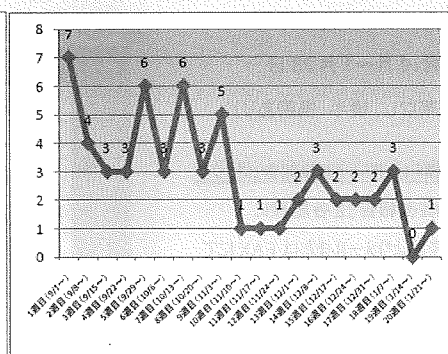
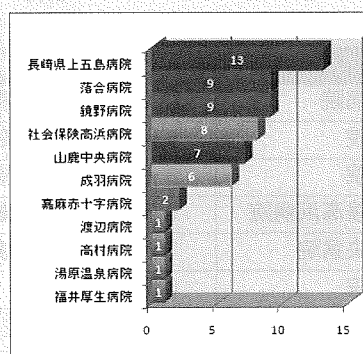
Mail: stroke3@med.kawasaki-m.ac.jp

ML: smt2008@freeml.com

## 1. SMT 後半症例登録の報告(20 週目)

症例登録件数: 58 例(1/22 現在)

No.	施設名	症例数	No.	施設名	症例数
1	上五島病院	13 例	7	嘉麻赤十字病院	2 例
2	鏡野病院	9 例	8	高村病院	1 例
3	落合病院	9 例	9	福井厚生病院	1 例
4	社会保険高浜病院	8 例	10	湯原温泉病院	1 例
5	山鹿中央病院	7 例	11	渡辺病院	1 例
6	成羽病院	6 例			



## 2. その他連絡事項

### ・平成 21 年度第 3 回 stroke-mobile-telemedicine 会議

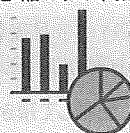
開催日時:平成 22 年 1 月 29 日(金) 13 時 30 分~15 時 30 分

開催場所:川崎医科大学 本館7階 カンファレンス室12

出席予定者:木村和美、藤本 茂、平野照之、林 浩嗣、立石洋平、寺澤由佳、中地 亮、  
榎本崇一、藤井修一、井口保之、芝崎謙作、岩永 健 (順不同敬称略)

※1/29 会議の際に預けております携帯電話、充電器、イヤホンマイクを一式ご持参下さい。

・現在、前半後半にご登録頂きました症例の1・3ヶ月後報告用紙を各施設にお送りさせて頂いております。研究報告書を作成するため、データ集計を行っておりますので、ご多忙中恐縮ですが、お早めにご記入をお願い申し上げます。



転送等で追跡が困難な場合は、お手数ですが、不明とご記載して頂き、事務局まで症例登録票のFAXを宜しくお願い申し上げます。

・研究期間もあと1週間を残すのみとなりました。1件でも多くの症例をご報告いただきますようご協力お願い申し上げます。

SMT事務局